

第35回 J J B F 埼玉県中学生選抜野球大会 要項

2020.07 版

1 目的

- 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社 武蔵ヒートベアーズ

4 期日

1st ステージ
1 2 日間
☆多 3チームによるリーグ戦 各リーグ1位のみが2ndステージ進出
9/5 (土) 6 (日) 12 (土) 13 (日) 19 (土) 20 (日)
21 (月) 22 (火) 26 (土) 27 (日) 10/3 (土) 4 (日)

↓

2nd ステージ
1 1 日間
☆多 POWER-LEAGUE 決勝トーナメント 1、2回戦
HOPEFUL-LEAGUE 決勝トーナメント 準々決勝・準決勝
10/10 (土) 11 (日) 17 (土) 18 (日) 24 (土) 25 (日)
10/31 (土) 11/1 (日) 3 (火) 7 (土) 8 (日)

↓

SEMI FINAL
FINAL
☆多 POWER-LEAGUE 準決勝・決勝 HOPEFUL-LEAGUE 決勝
11/15 (日) 予備日 21 (土) 22 (日) 23 (月)
ファイナル進出チームの都合により変更あり。

5 リーグについて (表彰および上部大会について)

今大会は、「POWER-LEAGUE」と「HOPEFUL-LEAGUE」のどちらか一方を選択し、参戦ください。
両リーグ同時進行で大会を行います。

- (1) 「POWER-LEAGUE」: 従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。優勝チームは、全国大会への出場権を得ます。最大参加チーム数48チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状 **3位** 3位楯 賞状

- (2) 「HOPEFUL-LEAGUE」: 野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく (1, 2年生が15名以内)」「中学校から野球を始めた選手が多い」など
発展途上のチームによる大会。最大参加チーム数24チーム

※表彰および上部大会

優勝 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状

※それぞれのリーグ優勝チーム、及び入賞チームは以下の大会などに推薦します。(昨年度の例)

○東日本中学生野球大会 (1月初旬 東京都三鷹市開催)

○金太郎杯 (3月下旬 神奈川県足柄近辺開催)

今現在、この2つの大会の開催の可否は決定されていません。

- 6 使用球およびバット ①M号球
 ②試合に際して、**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
 ③バット：JSBB の認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。

- 7 参加資格 県内中学校在籍または在住の中学生によって構成されたチーム
 また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

(1) 1st STAGE 3チームリーグ戦（A、B、Cの3チームによる）

第1試合 A 対 B （審判Cチームから4名）
 第2試合 C 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）
 第3試合 C 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人（顧問、コーチ、保護者）を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。

※審判費として、1会場3000円まで支払います。（3名×1000円）少額で申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

(2) 2nd STAGE

POWER-LEAGUE（16チームによるトーナメント 4会場にて実施）

決勝トーナメント1、2回戦（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

第1試合 1回戦 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 2回戦 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準々決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

HOPEFUL-LEAGUE（8チームによるトーナメント・準々決勝 準決勝 2会場にて実施）

決勝トーナメント準々決勝、準決勝（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

第1試合 準々決勝 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第2試合 準々決勝 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 第3試合 準決勝 第1試合**勝ち** 対 第2試合**勝ち**
 （審判 第1試合**負け**、第2試合**負け** から2名ずつ）

(3) **F I N A L**（POWER-LEAGUE HOPEFUL-LEAGUEそれぞれ同日に、別会場での実施予定
 万が一、会場の確保が困難な場合は、同一会場にて実施予定）

POWER-LEAGUE

準決勝・決勝戦（**1**、**2**、**3**、**4**の4チームによる）

準決勝 第1試合 **1** 対 **2**（審判 **3**、**4**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 準決勝 第2試合 **3** 対 **4**（審判 **1**、**2**の2チームから顧問・コーチ・保護者）
 決勝戦 本連盟より派遣

HOPEFUL-LEAGUE

決勝戦 本連盟より派遣

※同一会場実施の場合 第一試合 POWER-LEAGUE 準決勝① 第二試合 POWER-LEAGUE 準決勝②
 第三試合 HOPEFUL-LEAGUE 決勝 第四試合 POWER-LEAGUE 決勝の順番で実施予定

- 9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡してください。

(1) 参加費 1チーム 4,000円

(2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数

※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

- ① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。
- ② 100分を超えて新しいイニングには入らない。
- ③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は**引き分け**とする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク（**継続打順による一死満塁**スタートの特別延長戦）を行う。これを**2回**繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。
- ④ 投手の投球イニングは、**1日につき7イニングまで**とする。（タイブレークの場合は含まない）※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。
例
A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、A投手は、同日の試合では、あと1イニング（3アウト）登板することが可能である。（またB投手は、同日の試合では、あと6イニング（18アウト）登板することが可能である。）
※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げることができる。
④-特別：3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について（条件の平等化について）
10月○日（土） A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bの群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げた。
雨天のため、翌日に順延
10月△日（日） A 対 C Aは埼玉投手は投げられない。（ただし（リーグ戦はないが）タイブレークになった場合は投げられる。）
Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。
↓ **この場合？**
B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げるができる。
Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニングまで残り投げるができる。
- ⑤ コールドゲームは5回以降7点差とする。
- ⑥ ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には、別途、会場校が指定する。
- ⑦ 打者、走者、コーチャーはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。
- ⑧ 最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。（本大会において**同一選手が複数のチームでの複数回**の出場は認めない。ただし、**女子選手**の場合、出場機会の確保という観点から自チームおよび女子選抜チームでの登録・出場を特別に許可する。）
- ⑨ 背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

⑩リーグ戦に関する規則（A, B, Cの3チームでのリーグ戦の場合）

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 第1試合の「敗者」とし、第3試合を「C」対 第1試合の「勝者」とする。

※ただし会場の都合で、会場のチームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b 会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点（勝利チーム勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。）の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー（振り逃げを含む）などで、1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数=5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

1.1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。（ただし1チーム20名を超えて試合に出場することはできない。）

1.2 その他、お願い等

・この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。

・雨天以外（急な学校行事など）での日程の変更は行わない。都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、所定の様式に記入しメールにて連絡すること。それ以外での変更は配慮しない。（子どもたちが主役であるので、できるだけの努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。）

また組み合わせが決まった後の不参加は認めない。

1.3 新型コロナウイルス感染症に関わる内容

・埼玉県中体連 大会における感染拡大防止対策について

・公益財団法人全日本軟式野球連盟 JSBB 感染予防対策ガイドライン
令和2年6月4日現在

以上の2点に準じて実施していく。感染症の状況に応じて、大会運営者で協議・通達をする。

・何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 専務理事 森谷 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp